

## 金属部会トピックス

先日（3月6日）は金属部会を開催させていただきました。講師の王子製鉄(株)の紫関様、阪和興業(株)の井澤部長様にはお忙しいところ本当に感謝申し上げます。そして、紺野会長、東京の吉川理事長のお声かけで東京からは多数の参加者、そして、栃木から、群馬から、倉敷からもご参加を頂き、たいへん盛況のうちに開催できた事に感謝申し上げます。

さて、鉄スクラップは、本日（3月11日）関東鉄源協会の3月契約が決定いたしました。5社で25,000トン、落札平均単価は17,524円ということです。前月より5,183円の値下がりです。市況は1月21日の値上げをピークに2月24日以降、トータルで5,000円の下げとなっております。発生量の激減で市中の荷動きは極端に細くなっておりますが、電炉の減産、高炉の減産による鉄スクラップの買い止め、そして、海外相場の低迷等の要因により価格下落傾向が止まったと思えない状況です。相場回復の兆しはありませんし、3月期末玉も期待はずれで、発生が増える気配もあまり感じられません。

また、高炉の分譲スクラップや銑鉄の系列電炉への分配など電炉の購入減につながる更なる懸念も考えられます。しかし、上がったものは下がる、下がったものは上がる、鉄スクラップは腐らない、必ずや、盛り返す時期がくると思っています。再生資源は貴重な資源なのです。

2009年3月11日

日本再生資源事業協同組合連合会  
業務委員会・金属部会